

作成年月日	平成30年8月20日
作成部局	教育委員会事務局
課室名	教育企画課

第2期「ひょうご教育創造プラン（兵庫県教育基本計画）」の取組状況

教育基本法第17条第2項の規定に基づき、本県教育の振興を図るため策定した第2期「ひょうご教育創造プラン（兵庫県教育基本計画）」（平成26～30年度）の平成29年度の取組状況及び今後の取組について報告する。

1 指標(全156項目)の達成状況・・・[別添1]

指標について、達成状況を4段階で評価

◎：目標値を達成した（100%以上）

△：目標値をやや下回った（70%以上～90%未満）

○：目標値を概ね達成した（90%以上～100%未満）

▲：目標値を下回った（70%未満）

基本方針	指標数	達成状況				未確定 —
		◎	○	△	▲	
1 自立して未来に挑戦する態度の育成	19	7	11	1	0	0
2 「生きる力」を育む教育の推進	83	27	37	9	2	8
3 子どもたちの学びを支える仕組みの確立	33	11	6	2	2	12
4 すべての県民が学ぶ生涯学習社会の形成	21	10	5	4	2	0
合計（156項目）		55 [40.4%]	59 [43.4%]	16 [11.8%]	6 [4.4%]	20
(参考) H28 同期実績		53 [37.1%]	64 [44.7%]	20 [14.0%]	6 [4.2%]	12

① ◎及び○を合わせて114項目（約84% [未確定の指標は含まない]）が目標をおおむね達成している。

② 平成29年度目標値を著しく下回った（70%未満）項目は以下のとおり6項目である。

指標	区分	H26実績値	H27実績値	H28実績値	H29実績値	H29目標値
昭和60年頃のこどもの体力水準に達している項目の割合 [小・中・高]	基本方針 2	18.2%	22.7%	27.3%	31.8%	50%
県立大学における留学生数（受入人数）	基本方針 2	160人	170人	184人	194人	279人
教職員の処分件数 [小・中・高・特]	基本方針 3	370件	504件	339件	354件	167件
体罰の発生件数 [小・中・高・特]	基本方針 3	50件	45件	32件	29件	10件
生涯学習情報ネットワークシステムのアクセス件数	基本方針 4	407千件	548千件	582千件	445千件	720千件
大学や企業と連携したスポーツイベント等の開催に取り組むスポーツクラブ21ひょうごの割合	基本方針 4	4.4%	11.7%	16.7%	23.6%	34%

2 基本方針ごとの取組状況（教育委員会関係分のみ記載）

（1）基本方針1 自立して未来に挑戦する態度の育成

①社会的自立に向けたキャリア形成の支援

[取組状況等]

- 小・中・高における系統だったキャリアノートの活用など発達段階に応じた継続的なキャリア教育に取り組んだ。

指標		H26実績値	H27実績値	H28実績値	H29実績値	H29目標値	評価
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	小	86.5%	86.6%	85.1%	85.9%	85.9%	◎
	中	70.1%	70.2%	69.6%	69.2%	70.5%	○
将来の生き方や職業について考え、それを実現するために努力している生徒の割合[高]		44%	52.9%	51.4%	60.3%	56%	◎

[平成30年度の取組]

- 目標の達成に向けて、引き続きキャリアノートの活用を図るとともに、地域人材を育成するための産業教育フェアを開催するなど、キャリア形成の支援に取り組む。

②兵庫型「体験教育」の推進

[取組状況等]

- 環境体験事業、自然学校、わくわくオーケストラ教室、トライやる・ウィーク、高校生ふるさと貢献活動、インターンシップなど、兵庫型「体験教育」に取り組んだ。

指標	H26実績値	H27実績値	H28実績値	H29実績値	H29目標値	評価
地域と協働してふるさとの自然のよさに気づく学習プログラムを実施した学校の割合[小]	83.5%	83.9%	84.8%	95.2%	96%	○
トライやる・ウィークで培ったネットワーク等を活用した生徒の自発的活動を実施した学校の割合[中]	63.8%	63.3%	59.9%	58.3%	76%	△
高校生ふるさと貢献活動事業等学校行事において地域と協働した活動(地域の祭り等の伝統行事や清掃活動等)に参加した生徒の割合	55.8%	58.4%	61.2%	68.7%	74%	○

[平成30年度の取組]

- 社会的自立につながる態度の育成のためにも、平成30年度に策定する第3期ひょうご教育創造プランの検討過程の中で、兵庫型「体験教育」全体を通して子どもたちの成長を長期的な視点でとらえ、系統性のある効果的な取組を検討する必要がある。

③グローバル化に対応した教育の推進

[取組状況等]

- 全県立高校が独自に作成した CAN-DO リストを活用した英語授業改善、英語教員のための指導力向上研修、海外留学チャレンジプラン等の事業に取り組んだ。

指標		H26実績値	H27実績値	H28実績値	H29実績値	H29目標値	評価
難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している児童生徒の割合	小	72.9%	74.5%	74.1%	75.7%	77%	○
	中	65.4%	65.5%	66.6%	68%	68%	◎
将来、外国に留学したり、国際的な仕事に就いたりしてみたいと思う生徒の割合 [高]		37.7%	44.4%	42.6%	48.5%	47%	◎
英検準2級以上相当の英語力を有する高校3年生の割合		42.6%	42%	43.9%	45.1%	47.5%	○

[平成30年度の取組]

- スーパーグローバルハイスクール事業や各県立高校独自の学習到達目標の活用などにより、英語4技能をバランス良く育成し、生徒の英語力の向上に取り組む。
- 小学校外国語活動の開始学年の早期化に対応するとともに、教員の指導力向上や生徒の英語力の向上を図るためには、平成30年度に策定する第3期ひょうご教育創造プランの検討過程の中で、今後の取組方向を検討する。

(2) 基本方針2 「生きる力」を育む教育の推進

①「確かな学力」の育成【小・中学校】

[取組状況等]

- 全国学力・学習状況調査の結果や学習指導要領の趣旨を踏まえた学力向上策や、各教科等における「ことばの力」の育成などに取り組んだ。

指標		H26実績値	H27実績値	H28実績値	H29実績値	H29目標値	評価
「全国学力・学習状況調査」における学力調査結果（平均正答率）【小学校】	国語A	72.9%	70.1%	73%	75%	全国平均以上 (75%)	◎
	国語B	54.6%	65.5%	58%	57%	全国平均以上 (58%)	○
	算数A	77.7%	75.2%	78%	78%	全国平均以上 (79%)	○
	算数B	58.4%	46.9%	47%	46%	全国平均以上 (46%)	◎
「全国学力・学習状況調査」における学力調査結果（平均正答率）【中学校】	国語A	79.9%	77.1%	76%	78%	全国平均以上 (77%)	◎
	国語B	51.1%	65.9%	66%	72%	全国平均以上 (72%)	◎
	数学A	69.6%	67.1%	66%	68%	全国平均以上 (65%)	◎
	数学B	61.3%	42.8%	46%	50%	全国平均以上 (48%)	◎
普通の授業で、はじめに授業の目標（めあて・ねらい）が示されていると思う児童生徒の割合	小	77.3%	82.7%	85.6%	86.5%	全国平均以上 (84%)	◎
	中	54.6%	64.8%	77.4%	80.5%	全国平均以上 (66%)	◎
普通の授業で、最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていると思う児童生徒の割合	小	65.9%	69.3%	72.9%	72.4%	全国平均以上 (78%)	○
	中	40.1%	44.3%	49.0%	50.7%	全国平均以上 (52%)	○

[平成30年度の取組]

- 児童生徒が学習内容を「分かる」と実感できる授業づくりを推進するためには、全国学力・学習状況調査の結果等を踏まえ、平成30年度に策定する第3期ひょうご教育創造プランの検討過程の中で、引き続き授業改善の取組について検討する必要がある。
- 新学習指導要領の趣旨を踏まえた「主体的・対話的で深い学び」の実現や児童生徒の学力の底上げを行うためにも、平成30年度に策定する第3期ひょうご教育創造プランの検討過程の中で、今後の取組を検討する必要がある。

②「確かな学力」の育成【高等学校】

[取組状況等]

- 「ひょうご学力向上サポート事業(指定校 45 校)」、「県立高校特色づくり推進事業(全県立高校)」等により各校の特色に応じた学力向上に取り組むとともに、「高大接続推進事業」、「理数教育アクションプラン」により、多様な学びの機会の提供に努めた。

指標	H26実績値	H27実績値	H28実績値	H29実績値	H29目標値	評価
「学校の授業がよくわかる」と感じている生徒の割合	58.1%	57.4%	57.5%	60.8%	59%	◎
家庭など学校での授業以外で平日に1時間以上学習する生徒の割合	51.7%	49.8%	48.5%	50.5%	54%	○
学校の授業以外に、普段(月曜から金曜日)、1日当たり30分以上読書する生徒の割合	11.0%	11.6%	11.8%	12.2%	14%	△

[平成30年度の取組]

- 生徒の学習意欲を高め、さらなる学力向上の推進を図るためには、平成30年度に策定する第3期ひょうご教育創造プランの検討過程の中で、共通教材の検証・改善や授業改善で得られた成果を公開授業等を通じて共有できる仕組みや、高大接続推進事業を実施し大学や社会教育施設等との連携を充実させるなどの取組について検討する必要がある。

③「豊かな心」の育成

[取組状況等]

- 道徳教育の推進に係る指導力の向上、「兵庫版道徳教育副読本」の活用に取り組んだ。
- いじめはもとよりインターネット上における人権侵害等の新たな人権課題の解決に向けて、効果的な指導内容、方法などを実践的に研究した。

指標		H26実績値	H27実績値	H28実績値	H29実績値	H29目標値	評価
自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合	小	76.8%	77.0%	76.5%	78.3%	80%	○
	中	66.3%	67.6%	69.3%	70.5%	69%	◎
道徳の授業を全学級で家庭・地域に公開している学校の割合[小・中]		67.1%	76.7%	78.8%	84.1%	100%	△
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う児童生徒の割合	小	96.3%	96.2%	96.5%	96.0%	100%	○
	中	93.4%	93.8%	93.7%	92.8%	100%	○

[平成30年度の取組]

- 自他の生命の尊重、自分への信頼感や自信などの自尊感情、他者への思いやりなどの道徳性を育成するため、平成30年度に策定する第3期ひょうご教育創造プランの検討過程の中で、小学校で教科化された「道徳科」、中学校の「道徳の時間」での学びに加え、兵庫型「体験教育」等を通して指導の充実を図るための方策を検討する必要がある。

④「健やかな体」の育成

[取組状況等]

- 体力の構成要素（筋力、調整力等）ごとに様々な運動等を示した「運動プログラム」の普及、体力アップサポーターの派遣(派遣校 62 校)など児童生徒の体力・運動能力の向上に取り組んだ。
- 全ての学校で充実した食育を推進するとともに、指定した地域において、地産地消の推進と伝統的食文化の継承に取り組んだ。

指標		H26実績値	H27実績値	H28実績値	H29実績値	H29目標値	評価
スポーツをする児童生徒の割合（授業を除き1日1時間以上）	小	48.4%	48.6%	50.3%	51.9%	74%	△
	中	79.9%	78.1%	78.4%	77.9%	86%	○
	高	51.2%	53.9%	54.9%	53.9%	74%	△
朝食を毎日食べる児童生徒の割合	小	86.8%	86.3%	86.5%	85.9%	91%	○
	中	82.8%	83.1%	82.9%	82.4%	87%	○
	高	80.7%	82.5%	82.2%	80.7%	84%	○

[平成 30 年度の取組]

- 子どもの体力の向上に係る目標の達成に向け、「体力アップひょうご」サポート事業の活用等を通じて積極的に取り組む。
- 学校・家庭・地域の連携体制に基づく食育を推進するために、平成 30 年度に策定する第 3 期ひょうご教育創造プランの検討過程の中で、学校教育活動全体を通じた組織的・計画的・継続的な食育実践体制の充実を図る仕組みを検討する必要がある。

⑤特別支援教育の充実

[取組状況等]

- 地域内の教育資源を活用して、インクルーシブ教育に係るモデル研究を実施した。
- 障害のある子どもの教育的ニーズに応じて就学先を決定・引継する実践研究を実施したほか、知的障害児童生徒の増加に対応するため、平成 29 年 4 月に県立西神戸高等特別支援学校を新たに開校した。

指標	H26実績値	H27実績値	H28実績値	H29実績値	H29目標値	評価
特別な支援を必要とする生徒が在籍する県立高等学校のうち、「個別の指導計画」を作成・活用した学校の割合	54.5%	59.7%	76.4%	81.2%	75%	◎
特別支援教育に関する研修を受講した教員の割合 [幼・小・中・高]	81.5%	87.0%	90.5%	92.3%	100%	○
特別支援学校高等部生徒の就労体験を受け入れる企業・事業所等の数	466 事業所	544 事業所	544 事業所	699 事業所	450 事業所	◎

[平成 30 年度の取組]

- 特別な支援を必要とする幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに対応するため、平成 30 年度に策定する第 3 期ひょうご教育創造プランの検討過程の中で、「個別の指導計画」の作成活用や「個別の教育支援計画」の引き継ぎなど、教員の意識付けを図り、積極的な取組を検討する必要がある。
- 特別支援学校高等部卒業生の一般就労率の向上のため、平成 30 年度に策定する第 3 期ひょうご教育創造プランの検討過程の中で、地元企業と連携した取組を検討する必要がある。

(3) 基本方針3 子どもたちの学びを支える仕組みの確立

①学校の組織力及び教職員の資質能力の向上

[取組状況等]

- 兵庫県いじめ防止基本方針（平成 29 年 3 月改定）やいじめ対応マニュアル（平成 29 年 8 月改定）に基づき、関係機関との連携を強化するなど、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努めた。
- 教職員の勤務時間適正化推進プランに基づき、「教職員定時退勤日」、「ノー会議デー」、「ノー部活デー」の実施、先進事例（GPH50）を活用した実効性のある取組を推進した。

指標	H26実績値	H27実績値	H28実績値	H29実績値	H29目標値	評価
「教職員定時退勤日（ノー残業デー）」を実施している学校の割合（週1回以上）[小・中・高・特]	66.3%	72.3%	76.7%	76%	90%	△
「ノー会議デー」を実施している学校の割合（週1回以上）[小・中・高・特]	88.8%	91.3%	92.1%	96.4%	90%	◎

[平成 30 年度の取組]

- 教職員の処分件数及び体罰の発生件数の減少に向けて、引き続き、綱紀肅正通知の周知徹底、非違行為防止研修及び体罰防止研修の実施、会議等を通じた注意喚起などに積極的に取り組む。
- 目標の達成に向けて引き続き「教職員の勤務時間適正化推進プラン」に基づき、全校対象とした学校訪問指導を通じて先進的な取組事例の積極的な活用を促し、管理職のリーダーシップのもと、実効性のある取組を推進する。
- いじめ問題解消のため、第3期ひょうご教育創造プランの検討過程の中で、児童生徒の小さな変化を見逃さない体制づくりを検討する必要がある。

②安全・安心な学習環境の整備

[取組状況等]

- 県立学校の耐震化を1年間前倒しし、平成 29 年度に目標を達成した。このほか空調設備、太陽光発電設備等の学習環境の計画的な整備を実施した。
- 経済的に修学が困難な高校生等に対して奨学資金の貸与等を行った。

指標	H26実績値	H27実績値	H28実績値	H29実績値	H29目標値	評価
県立学校の耐震化率 [高・特]	92.2%	96.1%	98.4%	100%	99%	◎
県立学校における普通教室への空調整備の整備率 [高・特]	72.3%	81.2%	88.3%	96.8%	85%	◎
県立学校における太陽光発電設備の整備率 [高・特]	67.7%	74.7%	81.2%	88.4%	85%	◎

[平成 30 年度の取組]

- 目標の達成に向けて、引き続き以下の事業について積極的に取り組む。
 - ・ 学校施設の空調設備及び太陽光発電設備の整備を促進する。
 - ・ 「県立学校施設管理実施計画（I期：2017（平成 29）～2021 年度）」（平成 29 年 3 月策定）に基づき、学校施設の長寿命化改修及びトイレ改修等を計画的に実施する。

(4) 基本方針4 すべての県民が学ぶ生涯学習社会の形成

①生涯を通じた学びの機会・場の充実

[取組状況等]

- 魅力ある展覧会の開催、イベントや講座等の充実、多様な学習ニーズに対応するアウトリーチ活動などに取り組んだ。

指標	H26実績値	H27実績値	H28実績値	H29実績値	H29目標値	評価
社会教育施設の総利用者数（アウトリーチ含む）	242.6万人	226万人	188.1万人	246.8万人	200万人	◎
美術館、博物館における特別展等の内容に満足している来館者の割合	91.3%	92.4%	92.9%	91.9%	90%	◎

[平成30年度の取組]

- 目標の達成に向けて、県民のニーズを踏まえた魅力ある展覧会の開催に加え、アウトリーチを含むイベントや講座、セミナー等の一層の充実及び関係機関・団体との連携、効果的な広報の拡充等を図り、入館者の増加及び来館者の満足度の向上に取り組む。
- ふるさと意識を高めるとともに、県民の読書活動推進や地域課題解決の支援に取り組むため、平成30年度に策定する第3期ひょうご教育創造プランの検討過程の中で、今後の県立図書館の運営のあり方について検討する必要がある。

②文化財の保存・活用

[取組状況等]

- 地域の宝である文化財が身近な存在となるよう、文化財所有者等による一斉公開事業などに取り組んだ。

指標	H26実績値	H27実績値	H28実績値	H29実績値	H29目標値	評価
住んでいる地域には、自慢したい地域の「宝」（風景や産物、文化など）があると思う人の割合	49.3%	48.8%	53.2%	53.4%	53%	◎
「ひょうごヘリテージマンス」における歴史文化遺産を活用した事業の実施件数	140件	155件	186件	193件	185件	◎

[平成30年度の取組]

- 多様な自然・風土を有する本県が育んできた豊かな歴史文化遺産を後世に継承するため、平成30年度に策定する第3期ひょうご教育創造プランの検討過程の中で、地域独自の豊かな歴史文化遺産の保存・整備について検討する。
- 歴史文化遺産を活かした地域活性化に取り組むため、平成30年度に策定する第3期ひょうご教育創造プランの検討過程の中で、兵庫県を語る上で欠くことのできない歴史上のテーマや、重要で広域的な課題について体系的な調査研究について検討する。

③「スポーツ立県ひょうご」の実現

[取組状況等]

- スポーツクラブ 21 ひょうごの活動支援や関西マスターズスポーツフェスティバル、日本スポーツマスターズ 2017 兵庫大会の開催等により、生涯スポーツの普及に取り組んだ。
- 第 2 期新兵庫県競技力向上事業により競技団体の選手強化対策の支援、優秀な指導者の育成等競技力レベルの向上に取り組んだ。

指標	H26実績値	H27実績値	H28実績値	H29実績値	H29目標値	評価
年間を通じてスポーツを実施する成人の割合（週1回以上）	48.7%	64.1%	62%	65.2%	66.7%	○
国内外で活躍する本県選手数	398人	395人	415人	400人	520人	△

[平成 30 年度の取組]

- 大学や企業と連携したスポーツイベント等の開催に取り組むスポーツクラブ 21 の増加に向け、今年度から始まったワールドマスターズゲームズ 2021 関西参加促進事業や、兵庫体育・スポーツ科学学会との連携協力協定を活用しつつ、更なるクラブの活性化に向けて取り組む。
- 本県スポーツの競技力向上を図るため、「第 2 期新兵庫県競技力向上事業～世界にはばたけ兵庫プロジェクト～」を推進することにより、ジュニアからトップレベルに至るまでの一貫した指導体制を強化する。

第2期「ひょうご教育創造プラン」に係る指標の達成状況

別添1

評価基準

評 価 (達成率)	記 号
当該年度目標値を達成した (100%以上)	◎
当該年度目標値を概ね達成した (90%以上100%未満)	○
当該年度目標値をやや下回った (70%以上90%未満)	△
当該年度目標値を下回った (70%未満)	▲
当該年度実績値が未確定	—
新規調査又は隔年調査のため評価不可	※

※H28実績値は政策会議時点 (H29年8月)

基本方針1 自立して未来に挑戦する態度の育成

基本的方向1 社会的自立に向けたキャリア形成の支援

No	指 標	H28目標値	H28実績値	評価	H29目標値	H29実績値	評価	H28→H29	H30目標値	
1	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	小	85.3 %	85.1 %	○	85.9 %	85.9 %	◎	↗	全国平均以上
		中	71.1 %	69.6 %	○	70.5 %	69.2 %	○		全国平均以上
2	将来の生き方や職業について考え、それを実現するために努力している生徒の割合 [高]	52 %	51.4 %	○	56 %	60.3 %	◎	↗	60 %	
3	トライやる・ウィークの事前事後指導において、発展学習として進路学習を行った学校の割合 [中]	85 %	90.9 %	◎	92 %	89.8 %	○	↗	100 %	
4	ものづくり体験館での体験学習を実施した学校数 [中]	100 校	104 校	◎	100 校	105 校	◎		毎年度100 校	
5	社会人等による進路講演会等を実施した県立高等学校数 [高]	100 %	100 %	◎	100 %	100 %	◎		100 %	
6	就職希望者のうちインターンシップを行った県立高等学校生徒の割合 [高]	100 %	88.3 %	△	100 %	92.6 %	○	↗	100 %	
-	特別支援学校高等部から一般就労した卒業生の割合 [特]	23 %	※ (12月)		26 %	※ (12月)			全国平均以上	

基本的方向2 兵庫型「体験教育」の推進

No	指 標	H28目標値	H28実績値	評価	H29目標値	H29実績値	評価	H28→H29	H30目標値	
1	地域と協働してふるさとの自然のよさに気付く学習プログラムを実施した学校の割合 [小]	92 %	84.8 %	○	96 %	95.2 %	○		100 %	
2	トライやるアクション (トライやる・ウィークで培ったネットワーク等を活用した生徒の自発的活動) を実施した学校の割合 [中]	71 %	59.9 %	△	76 %	58.3 %	△		80 %	
3	今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合	小	67.9 %	65.3 %	○	62.6 %	59.4 %	○		全国平均以上
		中	45.2 %	45.8 %	◎	42.1 %	41.4 %	○	↗	全国平均以上
4	高校生ふるさと貢献活動事業等学校行事において地域と協働した活動 (地域の祭り等の伝統行事や清掃活動等) に参加した生徒の割合 [高]	67 %	61.2 %	○	74 %	68.7 %	○		80 %	
5	自発的に地域活動やボランティア活動 (地域の祭り等の伝統行事や清掃活動等: 学校行事除く) に参加した生徒の割合 [高]	29 %	27.3 %	○	31 %	28.6 %	○		33 %	

基本的方向3 グローバル化に対応した教育の推進

No	指 標	H28目標値	H28実績値	評価	H29目標値	H29実績値	評価	H28→H29	H30目標値	
1	難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している児童生徒の割合	小	76 %	74.1 %	○	77 %	75.7 %	○		78 %
		中	67 %	66.6 %	○	68 %	68 %	◎	↗	69 %
2	将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いたりしてみたいと思う生徒の割合 [高]	44 %	42.6 %	○	47 %	48.5 %	◎	↗	50 %	
3	英検準2級以上相当の英語力を有する高校3年生の割合 [高]	45 %	43.9 %	○	47.5 %	45.1 %	○		50 %	
4	総合的な学習の時間や特別活動で伝統文化活動等を実施した学校の割合 [高]	24 %	21.8 %	○	29 %	31.3 %	◎	↗	33 %	
5	副読本「世界と日本」を活用した授業を実施した学校の割合 [高]	93 %	94.6 %	◎	96 %	95.9 %	○	↗	100 %	

基本方針2 「生きる力」を育む教育の推進

基本的方向1 「確かな学力」の育成

No	指 標		H28目標値	H28実績値	評価	H29目標値	H29実績値	評価	H28→H29	H30目標値
1	「全国学力・学習状況調査」における学力調査結果（平均正答率）〔小学校〕	国A	73 %	73 %	◎	75 %	75 %	◎		全国平均以上
		国B	58 %	58 %	◎	58 %	57 %	○	◁	全国平均以上
		算A	78 %	78 %	◎	79 %	78 %	○	◁	全国平均以上
		算B	47 %	47 %	◎	46 %	46 %	◎		全国平均以上
1	「全国学力・学習状況調査」における学力調査結果（平均正答率）〔中学校〕	国A	76 %	76 %	◎	77 %	78 %	◎		全国平均以上
		国B	67 %	66 %	○	72 %	72 %	◎	◁	全国平均以上
		数A	62 %	66 %	◎	65 %	68 %	◎		全国平均以上
		数B	44 %	46 %	◎	48 %	50 %	◎		全国平均以上
2	学校の授業以外に、普段（月曜から金曜日）、1日当たり30分以上読書する児童生徒の割合	小	39 %	34.8 %	△	40 %	34.6 %	△		41 %
		中	31 %	25.3 %	△	32 %	26.3 %	△		33 %
		高	13 %	11.8 %	○	14 %	12.2 %	△	◁	15 %
3	授業（国、算・数）の内容がよく分かると回答する児童生徒の割合	小国	81 %	79.5 %	○	82 %	81.4 %	○		83 %
		小算	82 %	78.1 %	○	83 %	78.8 %	○		84 %
		中国	73 %	72.8 %	○	74 %	73.2 %	○		75 %
		中数	72 %	67.7 %	○	73 %	67.3 %	○		74 %
4	「学校の授業がよく分かる」と感じている生徒の割合〔高〕		58 %	57.5 %	○	59 %	60.8 %	◎	◁	60 %
5	普段の授業で、はじめに授業の目標（めあて・ねらい）が示されていると思う児童生徒の割合	小	82 %	85.6 %	◎	84 %	86.5 %	◎		90 %
		中	62 %	77.4 %	◎	66 %	80.5 %	◎		85 %
6	普段の授業で、最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていると思う児童生徒の割合	小	76 %	72.9 %	○	78 %	72.4 %	○		80 %
		中	48 %	49.0 %	◎	52 %	50.7 %	○	◁	55 %
7	家庭など学校での授業以外で平日に1時間以上学習する児童生徒の割合	小	68 %	63.1 %	○	69 %	64.1 %	○		70 %
		中	71 %	68.2 %	○	72 %	70.3 %	○		73 %
		高	53 %	48.5 %	○	54 %	50.5 %	○		55 %
8	探究的活動を取り入れた授業を行っている学校の割合〔高〕		85 %	89.9 %	◎	90 %	89.8 %	○	◁	100 %
9	「ことばの力」に関する教員研修を実施している学校の割合〔小・中〕		100 %	100 %	◎	100 %	100 %	◎		全校で継続実施
10	観察・実験活動充実のための高校教員等による研修会を開催する学校数〔小〕		62 校	43 校	▲	65 校	50 校	△	◁	70 校
11	I C T活用、情報モラル指導等に関する校内研修を実施している学校の割合〔小・中・高〕		80 %	95.6 %	◎	90 %	※（9月）	—		100 %

基本的方向2 「豊かな心」の育成

No	指 標	H28目標値	H28実績値	評価	H29目標値	H29実績値	評価	H28→H29	H30目標値	
1	自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合	小	79 %	76.5 %	○	80 %	78.3 %	○		81 %
		中	68 %	69.3 %	◎	69 %	70.5 %	◎		71 %
2	難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している児童生徒の割合	小	76 %	74.1 %	○	77 %	75.7 %	○		78 %
		中	67 %	66.6 %	○	68 %	68 %	◎	☆	69 %
3	兵庫版道徳教育副読本を活用した授業の年間授業時数	小	5.5 時間	5.7 時間	◎	5.7 時間	6 時間	◎		6 時間
		中	5.4 時間	4.9 時間	○	5.7 時間	5.4 時間	○		6 時間
4	兵庫版道徳教育副読本を活用した校内研修を実施している学校の割合 [小・中]	96 %	99.5 %	◎	98 %	99.5 %	◎		100 %	
5	道徳の授業を全学級で家庭・地域に公開している学校の割合 [小・中]	90 %	78.8 %	△	100 %	84.1 %	△		100 %	
6	(H27)人の気持ちが分かる人間になりたいと思う児童生徒の割合 (H28)人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合	小	100 %	93.9 %	○	100 %	92.7 %	○		100 %
		中	100 %	92.8 %	○	100 %	91.8 %	○		100 %
7	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う児童生徒の割合	小	100 %	96.5 %	○	100 %	96.0 %	○		100 %
		中	100 %	93.7 %	○	100 %	92.8 %	○		100 %
8	人権教育資料を活用した授業を実施した学校の割合	小	90 %	※ (8月)	—	95 %	※ (8月)	—		100 %
		中	90 %	※ (8月)	—	95 %	※ (8月)	—		100 %
		高	94 %	81.1 %	△	97 %	79.1 %	△		100 %
9	人権教育資料を活用した校内研修を実施した学校の割合	小	90 %	※ (8月)	—	95 %	※ (8月)	—		100 %
		中	90 %	※ (8月)	—	95 %	※ (8月)	—		100 %
		高	90 %	96.6 %	◎	95 %	89.2 %	○	☆	100 %
10	防災教育副読本「明日に生きる」を活用して防災教育に取り組む学校の割合 [小・中・高]	100 %	100 %	◎	100 %	100 %	◎		100 %	

基本的方向3 「健やかな体」の育成

No	指 標	H28目標値	H28実績値	評価	H29目標値	H29実績値	評価	H28→H29	H30目標値	
1	昭和60年頃の子どもの体力水準に達している項目の割合 [小・中・高]	50 %	27.3 %	▲	50 %	31.8 %	▲		50 %	
2	スポーツをする児童生徒の割合 (授業を除き1日1時間以上)	小	70 %	50.3 %	△	74 %	51.9 %	△		77.8 %
		中	85 %	78.4 %	○	86 %	77.9 %	○		86.9 %
		高	70 %	54.9 %	△	74 %	53.9 %	△		78 %
3	「運動プログラム」を活用している学校の割合	小	80 %	62.7 %	△	85 %	84.2 %	○	☆	90 %
		中	70 %	59.6 %	△	75 %	86.1 %	◎	☆	80 %
4	朝食を毎日食べる児童生徒の割合	小	90 %	86.5 %	○	91 %	85.9 %	○		92 %
		中	86 %	82.9 %	○	87 %	82.4 %	○		88 %
		高	83 %	82.2 %	○	84 %	80.7 %	○		85 %
5	食育に関する体験活動の実施のべ回数 [小・中]	4,500 回	4,402 回	○	4,500 回	4,486 回	○		4,500 回	
6	学校保健委員会を実施している学校の割合 [小・中・高]	100 %	98.6 %	○	100 %	97.7 %	○		100 %	
7	薬物乱用防止教室を開催した学校の割合 [中・高]	90 %	94.7 %	◎	95 %	※ (8月)	—		100 %	

基本的方向4 幼児期の教育の充実

No	指 標	H28目標値	H28実績値	評価	H29目標値	H29実績値	評価	H28→H29	H30目標値
1	幼稚園教員と保育士の合同研修を実施する市町の割合	85 %	90.0 %	◎	86.5 %	90.0 %	◎		88 %
2	幼稚園教員を対象とした資質向上研修を実施している公立幼稚園の割合	100 %	100 %	◎	100 %	100 %	◎		100 %
3	円滑な接続のために小学校と連携した公立幼稚園の割合	94 %	98.3 %	◎	97 %	100 %	◎		100 %
4	認定こども園の数（各年度4月1日時点）	338 園	322 園	○	444 園	463 園	◎	☒	490 園
5	わくわく幼稚園を実施している私立幼稚園数	190 園	146 園	△	200 園	144 園	△		202 園

基本的方向5 特別支援教育の充実

No	指 標	H28目標値	H28実績値	評価	H29目標値	H29実績値	評価	H28→H29	H30目標値	
1	特別な支援を必要とする児童生徒の「個別の指導計画」を作成・活用した学校の割合	小	100 %	99.3 %	○	100 %	99.3 %	○		100 %
		中	100 %	98.1 %	○	100 %	98.1 %	○		100 %
2	特別な支援を必要とする生徒が在籍する県立高等学校のうち、「個別の指導計画」を作成・活用した学校の割合〔高〕	70 %	76.4 %	◎	75 %	81.2 %	◎		80 %	
3	特別な支援を必要とする児童生徒の「個別の教育支援計画」を作成・活用した学校の割合	小	100 %	93.6 %	○	100 %	94.7 %	○		100 %
		中	100 %	93.9 %	○	100 %	94.6 %	○		100 %
4	特別な支援を必要とする生徒が在籍する県立高等学校のうち、「個別の教育支援計画」を作成・活用した学校の割合〔高〕	75 %	74.0 %	○	80 %	79.8 %	○		80 %	
5	通常の学級に在籍し、「個別の教育支援計画」を作成した生徒の支援情報を高校等の進学先へ引き継いだ割合〔中〕	100 %	96.8 %	○	100 %	96.2 %	○		100 %	
6	特別支援教育に関する研修を受講した教員の割合〔幼・小・中・高〕	100 %	90.5 %	○	100 %	92.3 %	○		100 %	
7	特別支援学校高等部から一般就労した卒業生の割合〔特〕	23 %	※（12月）	—	26 %	※（12月）	—		全国平均以上	
8	交流及び共同学習を通じて、障害のある生徒の理解がよく深まった高校生の割合〔高〕	95 %	91.1 %	○	95 %	92.3 %	○		95 %	
9	特別支援学校高等部生徒の就労体験を受け入れる企業・事業所等の数〔特〕	450 事業所	544 事業所	◎	450 事業所	699 事業所	◎		毎年度 事業所 450 所	

基本的方向6 私学教育の振興

No	指 標	H28目標値	H28実績値	評価	H29目標値	H29実績値	評価	H28→H29	H30目標値
1	県民による私立高校の選択（募集定員充足率）	93.2 %	92.6 %	○	93.2 %	89.4 %	○		H26実績値を維持
2	私立学校の耐震化率	84.5 %	※（12月）	—	86 %	※（12月）	—		90 %

基本的方向7 高等教育の推進

No	指 標	H28目標値	H28実績値	評価	H29目標値	H29実績値	評価	H28→H29	H30目標値
1	県立大学における共同研究・受託研究数	210 件	202 件	○	215 件	213 件	○		220 件
2	県立大学における留学生数（派遣人数）	110 人	218 人	◎	139 人	189 人	◎		150 人
3	県立大学における留学生数（受入人数）	230 人	183 人	△	279 人	194 人	▲	☒	300 人
4	県立大学における地域向けの公開講座・オープンゼミナールの開催（開催講座数）	37 講座	44 講座	◎	42 講座	50 講座	◎		42 講座
5	県立大学における地域向けの公開講座・オープンゼミナールの開催（受講人数）	1,925 人	2,171 人	◎	2,200 人	2,563 人	◎		2,200 人
6	HUMAP構想による短期留学生交流人数	345 人	367 人	◎	347 人	360 人	◎		毎年度 人 350 以上
7	単位互換による教養教育等の共同化大学数	32 大学	35 大学	◎	33 大学	35 大学	◎		毎年度 大学 34 以上

基本方針3 子どもたちの学びを支える仕組みの確立

基本的方向1 学校の組織力及び教職員の資質能力の向上

No	指 標	H28目標値	H28実績値	評価	H29目標値	H29実績値	評価	H28→H29	H30目標値	
1	授業研究を伴う校内研修を実施した学校の割合 (年間5回以上)	小	96 %	93.6 %	○	97 %	94.1 %	○		98 %
		中	62 %	59.7 %	○	66 %	62.6 %	○		70 %
		高	60 %	85.0 %	◎	65 %	85.7 %	◎		90 %
2	授業中にICTを活用して指導することができる教員の割合 [小・中・高・特]	80 %	※ (8月)	—	85 %	※ (9月)	—		90 %	
3	教職員の処分件数 [小・中・高・特]	203 件	339 件	▲	167 件	354 件	▲		130 件 以下	
4	体罰の発生件数 [小・中・高・特]	20 件	32 件	▲	10 件	29 件	▲		0 件	
5	学校評価の結果をその後の具体的な取組に活かした学校の割合 [幼・小・中・高・特]	100 %	72.3 %	△	100 %	※ (9月)	—		100 %	
6	「教職員定時退勤日(ノー残業デー)」を実施している学校の割合(週1回以上) [小・中・高・特]	80 %	76.7 %	○	90 %	76 %	△	☒	100 %	
7	「ノー会議デー」を実施している学校の割合(週1回以上) [小・中・高・特]	80 %	92.1 %	◎	90 %	96.4 %	◎		100 %	
8	「ノー部活デー」を実施している運動部、文化部の割合(平日は週1日以上、土曜日、日曜日等の休業日は月2回以上部活動を行わない)	中	98 %	97.6 %	○	99 %	※ (8月)	—		100 %
		高	96 %	93.2 %	○	99 %	※ (8月)	—		100 %
9	いじめの実態把握のために、アンケート調査を実施している学校の割合(学期に1回以上)	小・中	100 %	※ (10月)	—	100 %	※ (10月)	—		100 %
		高	100 %	※ (10月)	—	100 %	※ (10月)	—		100 %
10	認知したいじめを解消させた割合 [小・中・高・特]	全国平均以上	※ (10月)	—	全国平均以上	※ (10月)	—		全国平均以上	
11	暴力行為の発生件数(児童生徒1,000人あたり) [小・中・高]	全国平均以下	※ (10月)	—	全国平均以下	※ (10月)	—		全国平均以下	
12	不登校児童生徒の割合 [小・中・高]	全国平均以下	※ (10月)	—	全国平均以下	※ (10月)	—		全国平均以下	
13	精神疾患による療養者数 [小・中・高・特]	185 人	212 人	△	170 人	221 人	△		160 人 以下	
14	休職中の教員のプレ出勤等実施率(精神疾患により休職中の教員が職場復帰する際の1ヶ月以上のプレ出勤等率) [小・中・高・特]	60 %	50.0 %	△	70 %	100 %	◎	☒	80 %	

基本的方向2 安全・安心な学習環境の整備

No	指 標	H28目標値	H28実績値	評価	H29目標値	H29実績値	評価	H28→H29	H30目標値
1	県立学校の耐震化率 [高・特]	97 %	98.4 %	◎	99 %	100 %	◎		100 %
2	県立学校における普通教室への空調設備の整備率 [高・特]	80 %	88.3 %	◎	85 %	96.8 %	◎		100 %
3	県立学校における太陽光発電設備の整備率 [高・特]	80 %	81.2 %	◎	85 %	88.4 %	◎		90 %

基本的方向3 家庭の教育力の向上

No	指 標	H28目標値	H28実績値	評価	H29目標値	H29実績値	評価	H28→H29	H30目標値
1	P T C A活動支援事業参加者数	18,000 人	16,436 人	○	18,000 人	20,570 人	◎	☒	毎年度 人 18,000 以上
2	市町における子育て家庭を対象とした講座への参加者数	550,000 人	776,498 人	◎	550,000 人	618,911 人	◎		毎年度 人 550,000 以上
3	まちの子育てひろば事業実施箇所数	2,190 箇所	2,099 箇所	○	2,110 箇所	2,046 箇所	○		2,139 箇所
4	未就園児及びその保護者を対象とした教育相談・保育等を実施する公立幼稚園の割合	79 %	89.8 %	◎	80 %	※ (8月)	—		90 %
5	乳幼児子育て応援事業を実施している私立幼稚園数(累計)	220 園	209 園	○	225 園	211 園	○		232 園
6	乳幼児子育て応援事業を実施している保育所数(累計)	490 園	489 園	○	500 園	495 園	○		510 園

基本的方向4 地域全体で子どもを育てる環境づくりの推進

No	指 標	H28目標値	H28実績値	評価	H29目標値	H29実績値	評価	H28→H29	H30目標値
1	地域の子どもは伸び伸びと育っていると思う人の割合	63 %	65.4 %	◎	63 %	65.9 %	◎		毎年度 % 63 以上
2	地域をより良くしたり、盛り上げたりする活動に参加している人の割合	23 %	38.4 %	◎	23 %	36.5 %	◎		毎年度 % 23 以上
3	登下校の見守り活動が行われている学校の割合 [小]	—	隔年調査	※	100 %	※ (31年3月)	—		100 %
4	地域住民の参画による学校地域連携の仕組みを有する学校の割合(政令市、中核市除く) [小・中]	80 %	82.7 %	◎	90 %	89.7 %	○	☒	100 %
5	ひょうごっ子・ふるさと塾事業実施数	100 箇所	59 箇所	▲	100 箇所	168 箇所	◎	☒	毎年度 箇所 100
6	学校関係者評価を公表(広く公表)している学校の割合 [幼・小・中・高・特]	100 %	100 %	◎	100 %	※ (9月)	—		100 %

基本方針4 すべての県民が学ぶ生涯学習社会の形成

基本的方向1 生涯を通じた学びの機会・場の充実

No	指 標	H28目標値	H28実績値	評価	H29目標値	H29実績値	評価	H28→H29	H30目標値
1	美術館・博物館における特別展等の内容に満足している来館者の割合	90 %	92.9 %	◎	90 %	91.9 %	◎		毎年度 % 90 以上
2	社会教育施設の総利用者数（アウトリーチ含む）	200 万人	188.1 万人	○	200 万人	246.8 万人	◎	↗	毎年度 万人 200 以上
3	社会教育施設の講座やイベント・アウトリーチの実施回数	2,800 回	2,707 回	○	2,800 回	2,802 回	◎	↗	毎年度 回以上 2,800 以上
4	目的を持って学んでいるものがある人の割合	41 %	45.1 %	◎	41 %	44.9 %	◎		毎年度 % 41 以上
5	高齢者大学講座の受講者数	3,150 人	3,113 人	○	3,150 人	3,014 人	○		毎年度 人 3,150 以上
6	生涯学習情報ネットワークシステムのアクセス件数	710 千件	582 千件	△	720 千件	445 千件	▲	↘	730 千件
7	人と自然の博物館における共生博物館地域研究員の養成人数	225 人	229 人	◎	230 人	237 人	◎		235 人
8	社会教育関係職員等研修受講者数（のべ人数）（累計）	1,000 人	1,422 人	◎	1,250 人	1,877 人	◎		1,500 人
9	生涯学習リーダーバンクの登録者数	245 人	234 人	○	250 人	246 人	○		255 人

基本的方向2 文化財の保存・活用

No	指 標	H28目標値	H28実績値	評価	H29目標値	H29実績値	評価	H28→H29	H30目標値
1	住んでいる地域には、自慢したい地域の「宝」（風景や産物、文化など）があると思う人の割合	51 %	53.2 %	◎	53 %	53.4 %	◎		55 %
2	考古博物館におけるボランティア（考古案者）研修修了人数	360 人	365 人	◎	380 人	382 人	◎		400 人
3	「ひょうごヘリテージマンス」における歴史文化遺産を活用した事業の実施件数	170 件	186 件	◎	185 件	193 件	◎		200 件

基本的方向3 「スポーツ立県ひょうご」の実現

No	指 標	H28目標値	H28実績値	評価	H29目標値	H29実績値	評価	H28→H29	H30目標値	
1	スポーツをする児童生徒の割合（授業を除き1日1時間以上）	小	70 %	50.3 %	△	74 %	51.9 %	△		77.8 %
		中	85 %	78.4 %	○	86 %	77.9 %	○		86.9 %
		高	70 %	54.9 %	△	74 %	53.9 %	△		78 %
2	親子で行うスポーツプログラムを実施するスポーツクラブ21ひょうごの割合	80 %	70.3 %	△	84.4 %	73.1 %	△		88 %	
3	年間を通じてスポーツを実施する成人の割合（週1回以上）	65 %	62.0 %	○	66.7 %	65.2 %	○		69 %	
4	大学や企業と連携したスポーツイベント等の開催に取り組むスポーツクラブ21ひょうごの割合	30 %	16.7 %	▲	34 %	23.6 %	▲		38 %	
5	気軽に参加できる生涯スポーツ大会数	75 大会	71 大会	○	80 大会	75 大会	○		85 大会	
6	国内外で活躍する本県選手数	500 人	415 人	△	520 人	400 人	△		540 人	
7	障害のある人のスポーツ参加者数	12,000 人	18,323 人	◎	12,600 人	26,882 人	◎		13,200 人	

基本方針	平成28年度実績					平成29年度実績				
	◎	○	△	▲	-	◎	○	△	▲	-
1 自立して未来に挑戦する態度の育成	5	12	2	0	0	7	11	1	0	0
2 「生きる力」を育む教育の推進	29	36	10	2	6	27	37	9	2	8
3 子どもたちの学びを支える仕組みの確立	11	9	3	3	6	11	6	2	2	12
4 すべての県民が学ぶ生涯学習社会の形成	8	7	5	1	0	10	5	4	2	0
合 計	53 [37.1%]	64 [44.7%]	20 [14.0%]	6 [4.2%]	12	55 [40.4%]	59 [43.4%]	16 [11.8%]	6 [4.4%]	20

第2期「ひょうご教育創造プラン（兵庫県教育基本計画）」
平成29年度実施計画に掲げる指標の達成状況が低い項目（▲：70%未満）について

指 標	目 標	実 績	達成率	評 価	理 由	対 応
[2-3-1] 昭和60年頃の子どもの体力水準に達している項目の割合 [小・中・高]	50%	31.8%	63.6%	▲	50m走、持久走の「走能力」の項目では全国同等以上の傾向を示しているが、生活様式の変化等により、「握力」と「投能力」の項目が低い値となっている。	専門性に優れたサポーターを小学校に派遣する「体力アップサポーター派遣事業」を拡充する。 ホームページに掲載している「3分間で分かる小学校体育授業」等の活用を促すとともに、体力アップスクール表彰受賞校の取組等を紹介し、教員の指導力向上に努める。
[2-7-3] 県立大学における留学生数(受入人数)	279人	194人	69.5%	▲	留学生受入環境や日本語のできる留学生を対象とした教育カリキュラムであるため伸び悩んだ。カリキュラムの工夫、海外への広報・PRが必要である。	学生寮など留学生受入環境を整備するとともに、留学生確保に向けた広報・PR活動を強化する。
[3-1-3] 教職員の処分件数 [小・中・高・特]	167件	354件	47.2%	▲	処分件数の約75パーセントを占める交通事故・違反に対する教職員の認識の徹底が必要である。	綱紀粛正通知の周知徹底、市町教委、各学校での研修等の実施により、交通法規の遵守と交通事故の防止をはじめ綱紀粛正の徹底に努める。
[3-1-4] 体罰の発生件数 [小・中・高・特]	10件	29件	34.5%	▲	前年度から減少したものの、教員の体罰に対する認識不足と教員への指導が不徹底であった。	綱紀粛正通知の周知徹底、市町教委、各学校での研修等の実施により、体罰防止の徹底に努める。
[4-1-6] 生涯学習情報ネットワークシステムのアクセス件数	720千件	445千件	61.8%	▲	生涯学習情報ネットワークシステム参画機関それぞれが、HPやSNS(ツイッター・フェイスブック等)を活用し、積極的に情報発信を行うようになったことなどから、ネットワークシステムのHP自体へのアクセス件数は伸び悩んだ。	ひょうごインターキャンパスに参画している各機関に講座・イベント情報の更新頻度の向上、内容の充実を依頼し、サイトの魅力向上を図る。 市町高齢者大学等の講座での紹介、県や生きがい創造協会の紹介を強化し、サイトのより一層の周知を図る。
[4-3-4] 大学や企業と連携したスポーツイベント等の開催に取り組むスポーツクラブ21ひょうごの割合	34%	23.6%	69.4%	▲	専門的な見識を有するクラブアドバイザー(大学教員等)を市町に派遣し、指導・助言を行なうことで活性化を図ったが、目標値には至らなかった。	全県スポーツサミット等で、大学・企業との取組事例紹介を通じて、連携の手法を共有するとともに、企業に対しスポーツを通じた健康増進の福利厚生現場としての「スポーツクラブ21ひょうご」を活用するよう促す。

<問い合わせ先>

教育委員会事務局教育企画課教育企画班

TEL: 078-362-4478